



2021年度 プロフェッショナリズム研修・第9回例会(オンライン) 「組織人のバイアスと行動選択」

昨年に引き続き、オンライン形式によるプロフェッショナリズム研修(継続教育)・第9回例会を行います。

私たち専門職にとって極めて重要なプロフェッショナリズムについて考える貴重な機会ですので、正会員各位の積極的な参加をお願い申し上げます。

人は「自分がどう行動すべきか」を正しく認識しても、「正しく行動できるとは限らない」といいます。現に、組織不正が明るみに出ると、不正に関与したとされる人は「だめだと頭でわかっていた」「魔が差した」といった理由を口にします。なかには、「KY(空気が読めない)人だと思われなくなかった」という人もいるかもしれません。こうした問いに心理学・認知科学と脳科学・神経科学の観点からアプローチしたのが「行動倫理学」です。

今回は、「なぜ良識ある人が無意識のうちに不正な行動を選択するのか」について、ケーススタディを盛り込みながら、行動倫理学の観点から説明します。(講義後半には、ケーススタディについて小グループに分かれて参加者全員によるディスカッションを行います。)

※当研修は、主に正会員の方向けの継続教育を目的としたプロフェッショナリズム研修(継続教育)となります。準会員・研究会員の方の受講も可能ですが、準会員の方が受講しても、毎年2月下旬頃に1日のコースで開催している、正会員資格の取得要件としてのプロフェッショナリズム研修(初期教育)の代替にはなりません。

◆日時 : 2021年12月7日(火) 18:00 ~ 20:00

※例会のWebinar化に伴い、当日参加が難しい方のために、録画動画の再放送を実施します。再放送を視聴の場合も、当日参加と同様に出席と見做して会員ホームページに公式CPD単位として反映します(今回の再放送は講義後半のディスカッション部分を含まないため、当日参加の場合と単位数は異なります)ので、当日の参加が難しい方は是非ご活用ください。再放送の日程は次の通りです。

【12月21日(火) 18:00 ~ 19:30】

再放送の参加方法等は前日20日(月)の正午までに改めてご案内いたします。

◆会場 : Zoomミーティングによるオンライン開催(定員 先着200名)

◆講師 : 埼玉大学大学院 人文社会科学部研究科経済系 教授 水村 典弘 氏

◆参加登録 : 別紙をご参照ください。定員に空きがあれば、開催時刻まで登録は可能です。

※登録の際にご入力いただく氏名・会員番号・生年月日は、例会当日のCPD単位のための出席確認に利用します(単位集計をより正確・簡易に行う目的で、生年月日のご入力をお願いしております)。お間違えのないよう、正確にご入力をお願いいたします。

◆講演資料 : 当会会員ホームページからダウンロードしてください(12月1日(水)頃掲載予定)。

◆質疑応答 : 今回の研修では質疑応答の時間を設けておりません。前半の講演の内容について質問がございました場合は、お手数ですが下記メールアドレスまでご連絡ください。後日講師より回答いたします。(質問が多数あった場合は、回答できない場合がございますのでご了承ください。)

pro-education@actuaries.jp

なお、質問メールについては名前あり/匿名いずれでも構いません。

講師プロフィール

水村 典弘 氏

2003年3月 明治大学大学院商学研究科修士・博士(商学)

2004年4月 埼玉大学経済学部助教授就任

2018年4月～ 埼玉大学大学院人文社会科学部研究科教授

経営学・コンプライアンス・行動倫理を研究分野として、「コンプライアンス研修の設計と実際—研修の死角と「やらされ感」を生む原因—」(日本経営倫理学会誌・2020年)で「水谷雅一(論文)賞・優秀賞」を受賞。

「従業員による「意図せぬ不正」の要因分析」(産業経理・2020年1月)など、論文発表や出版物への寄稿多数。

役員研修・管理職研修・社員研修(日本生産性本部主催)も多数実施。